



厚真町

2015年6月5日
厚真町
公益財団法人イオン環境財団

美しい水と豊かな生物を育む森の再生を目指して

6 / 13 (土) 第1回「北海道 ^{あつまちょう}厚真町植樹」開催
600人のボランティアの皆さまと5,400本の木を植えます

北海道厚真町と公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田卓也 イオン株式会社名誉会長相談役、以下、当財団）は6月13日（土）、第1回「北海道 厚真町植樹」を実施します。

北海道南部に位置する厚真町は、町内の7割に森林が広がる緑豊かな町で、中央部を流れる厚真川を中心に美しい田園風景が広がっています。肥沃な土地には、稲や野菜などさまざまな農作物が育ち、中でもハスカップの栽培面積は日本一を誇ります。

このたび植樹を実施する厚真川上流部周辺では、レジャー施設の跡地が残され、表土が荒廃し、水資源を蓄え生物を育む土壌の水源涵養機能が低下しています。このため、厚真町の基幹産業である農業に対する影響が懸念されるほか、土砂の流出や河川氾濫の危険性も高まり、防災上の観点からも回復が望まれています。このような背景のもと、農業、とりわけ稲作に欠かせない水資源を安定的に確保するため、植樹活動を通じて森林が本来持つ水源涵養機能の回復を目指し、人々を守り、産業を支える森林へと育てていきます。

厚真町と当財団は、本年より3年で約17,000本の植樹活動に取り組みます。1回目の本年は、地域の皆さま、ボランティアの方々600人とともに地域に自生する樹種5,400本を植樹します。

厚真町と当財団は、豊かな自然の保護と人々のくらしのため、環境保全活動を推進してまいります。

記

日 時：2015年6月13日（土）10:00～12:00

場 所：北海道 ^{ゆうふつくんあつまちょうたかおか}勇払郡厚真町高丘179-1

参加者：600人

樹 種：アカエゾマツ、エゾノウワミズサクラ、オニグルミ、ヤチダモ、カツラ
ケヤマハンノキ、ドロノキ、ハルニレ、ヤマハンノキなど

本 数：5,400本

面 積：2.16ha

主 催：厚真町、公益財団法人イオン環境財団

協 力：北海道 ^{いぶり}胆振総合振興局、イオン北海道株式会社、マックスバリュ北海道株式会社

出席者：北海道厚真町 町長 宮坂 尚市朗 様

(予定) 北海道胆振総合振興局 局長 小玉 俊宏 様

公益財団法人イオン環境財団 理事長（イオン株式会社名誉会長相談役） 岡田 卓也

イオン北海道株式会社 代表取締役社長 星野 三郎

マックスバリュ北海道株式会社 代表取締役社長 出戸 信成

以上